



225

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2024年8月25日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

孤高の版画家、久保舎己さんの生涯

25日(日)＝1、3面

迫る



版画家の久保舎己さん＝写真＝の生涯にスポットを当てます。リベラル派の論壇誌として知られる「世界」の表紙を24年1月号から毎号飾っているのが久保さんの作品です。

三重県津市を中心に活動した久保さんですが、もうこの世にはおられません。「世界」の表紙に決まったとの知らせを受けた直後、がんにより亡くなりました。その作品はシンプルなタッチですが、反戦や平和、家族愛がじんわりとにじむものばかり。生前に高い

知名度があったわけではなく、家具職人やタクシー運転手をして家族の生活を支えるという市井の芸術家でした。ドイツの美術館や「原爆の図丸木美術館」などでの展示会を経て、少しずつ注目が集まりつつあったところに「世界」のオファーがありました。

久保さんはどんな思いで版画に取り組んでいたのか。遺族や親友へのインタビュー、書き残された手記などから、久保さんの人生にフォーカスします。

新幹線の荷物輸送はいかに 25日(日)＝総合面



北海道新幹線「はやぶさ」で新函館北斗駅から運ばれてきた特産品を荷降ろしする関係者＝東京都千代田区のJR東京駅で

トラック運転手の残業規制強化に伴う物流の「2024年問題」。その対策の一環として、新幹線による荷物輸送が注目を浴びています。JR東海が今年4月に東海道新幹線を活用したサービスを開始し、

JR各社の全区間（新函館北斗～鹿児島中央間）がつながりました。到着が早くて、時間正確、しかも揺れない。新幹線を使った荷物輸送でどんなことができるのか解説します。



自動車の認証不正問題について記者会見するトヨタ自動車の豊田章男会長＝東京都千代田区で

大手自動車メーカーなどでも相次いだ不正により、自動車量の指定に不可欠な型式指定の認証制度が注目を集めています。制度側には見直しを求め、国際競争にさらされるメーカー側には見直しを求め、国土交通省は安全性の観点からルールの順守を求めています。不正を生まない組織づくりには何が必要か。専門家に聞きました。

論点 自動車の認証不正問題

28日(水)＝オピニオン面

特集 ワイド 牧原出・東大教授が展望する 自民党総裁選

28日(水)＝夕刊2面



「次の総裁は、存命なら安倍さんで決まりだったんでしょうね」。自民党総裁選の展望を政治学者の牧原出・東大教授＝写真＝に聞いたら、いまだ衰えぬ安倍晋三氏の人気に話が及びました。東京都知事選で2位

になった石丸伸二氏と一緒にですよ、と言います。「有権者にとってアイドルになりうる。要は『推し活』の対象なんです。でも今度の総裁選には『推しキャラ』がない」。混迷する国政の行方は。

竹橋の窓辺から

編集後記



毎日新聞社は9月9日、オンラインイベント「中国『新移民』のインパクト」を主催し、急増するタワマン特需の裏側」を開催します。日本向けのアレンジなしの本場の味つけの「ガチ中華」が中心で急増するのは、中国からの「新移民」が増えているからとか。最新情報をフリージャーナリストの舩友雄大さんと東京ディープチャイナ研究会代表の中村正人が語ります。ぜひご参加ください。(中村馨)



※都合によっては掲載日や内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。